

# シェアリングエコノミー伝道師について

シェアリングエコノミー伝道師とは…

地方においてシェアリングエコノミーの導入を推進するため、  
豊富な知見や活用の実績等を備え、シェアリングエコノミーの活用をわかりやすく説明する人材  
(「シェアリングエコノミー検討会議 中間報告書」より抜粋)

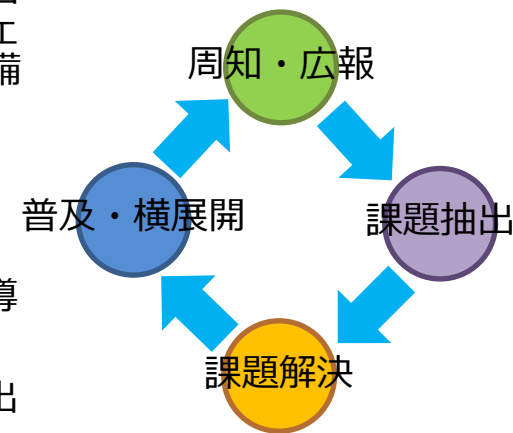
## シェアリングエコノミー伝道師の役割

わが国の超少子高齢社会における諸課題に対応するため、地域内外の様々な関係者間の仲介役となり、地域独自の課題や魅力に気付き、その解決や活用に向けて、シェアリングエコノミーを主要な手段として推進し、安全・安心・快適な地域環境の整備を図ること。

シェアリングエコノミーの地域への普及展開に当たっては、

- ① 既知の成功事例をよく学び、それらを参考にして、最適な解決手法を選択して導入すること
- ② さらには、地域の方と共に課題の本質を把握し、新たなソリューションを創り出して適用すること

を目指して活動を行うこと。



### 周知・広報

- ・シェアエコを活用した先進的な事例の収集
- ・シェアエコを活用した地域課題解決・交付金活用等に関する情報発信 など

### 課題抽出

- ・地方自治体等へのセミナー等
- ・意見交換を通じた地域課題の抽出 など

### 課題解決

- ・シェアエコ導入までの計画策定支援
- ・体制構築、シェアエコ導入・運用に向けたアドバイス など

### 普及・横展開

- ・課題解決事例の収集・類型化
- ・シェアエコベストプラクティスの充実 など

# シェアリングエコノミー伝道師プロフィール (1/4)

(※)令和5年5月時点の内容になります。

氏名/任命時期	これまでの主な実績等	所属団体等
<p>いしい かずのり 石井 重成</p> <p>2017年12月</p> 	<p>岩手県釜石市の地方創生や官民パートナーシップを統括し、多様なつながりのデザインを通じた人口減少時代の持続可能なまちづくりを探索（国内初となるAirbnb社×自治体連携、シェアリングシティ実証実験、観光地域づくり・DMO、ワーケーション、関係人口、次世代教育等）。青森大学を拠点に自治体・中間支援団体・企業の組織開発や人材育成を支援し、都市と地域の共創を創出。著作に『Arts of Local Career ローカルキャリア白書』。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 青森大学准教授</li> <li>➢ (一社) 地域・人材共創機構</li> </ul>
<p>いしざき まさのり 石崎 方規</p> <p>2017年3月</p> 	<p>クラウドソーシングの普及に向け、佐賀県多久市にて、地方創生加速化交付金を活用し、「多久市ローカルシェアリングセンター事業」、佐賀県基山町にて、「魅力ある空間形成プロジェクト」を推進。また、熊本県阿蘇市・錦町、長崎県島原市等において、「シェアリングエコノミー型九州観光サービスモデル事業」を支援するなど、地域におけるシェアリングエコノミーの活用に尽力。新潟県糸魚川市で糸魚川商工会議所が運営主体となる「糸魚川産業創造プラットフォーム」のシェア・マッチングシステムの構築支援を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (特非) 価値創造プラットフォーム</li> <li>➢ (一社) シェアリングエコノミー協会 (アソシエイト会員)</li> </ul>
<p>いしやま 石山 アンジュ</p> <p>2017年3月</p> 	<p>シェアリングエコノミー協会事務局長としてシェアリングエコノミーの普及促進、政策推進、シェアリングシティ、安全な市場環境の整備に向けた取り組み、海外との連携などを統括。世界経済フォーラム Global Council Japanメンバー、日経スマートシティインスティテュートアドバイザーなど専門家としても各界で提言。2019年 著書「シェアライフ-新しい社会の生き方」(クロスメディア・パブリッシング) を出版。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (一社) シェアリングエコノミー協会</li> </ul>
<p>かとう りょう 加藤 遼</p> <p>2017年12月</p> 	<p>企業/行政/NPO連携による東北復興、海外展開、地方創生、シェアリングエコノミーをテーマとした事業開発などに従事。2018年から地域企業と複業人材のマッチング事業を開始し、岩手/横浜/塩尻/静岡/高松/安芸高田/松山/鳥取/徳島などの自治体や経営支援機関等と連携して、4年間で約2000名の複業人材、約180社の地域企業に参画頂き、200件を超えるマッチングを実現。また、2019年からワーケーションプログラム企画・運営事業を開始し、和歌山/徳島/山梨/山口/静岡などの自治体と連携して、3年間で都市部企業約50社、自治体約10団体に参画頂き、20件を超えるワーケーションプログラムを実施。パソナJOB HUBとして令和3年度・観光庁「新たな旅のスタイル」促進事業アドバイザー、パソナグループとして内閣府地方創生テレワーク推進パートナーとしても活動している。直近はパソナJOB HUBとして日本テレワーク協会主催第22回テレワーク推進賞・促進部門優秀賞受賞。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (株) パソナグループ</li> <li>➢ (株) パソナJOB HUB</li> <li>➢ (株) VISIT東北</li> </ul>

# シェアリングエコノミー伝道師プロフィール (2/4)


(※)令和5年5月時点の内容になります。

氏名/任命時期	これまでの主な実績等	所属団体等
<p>さべつとう たかし 佐別当 隆志</p>  <p>2017年3月</p>	<p>シェアリングエコノミー協会を立ち上げ、事務局長として全体を統括。また、埼玉県横瀬町にてTABICAやスペースマーケットをなどのサービスを活用した地域活性化を支援するなど、シェアリングエコノミーを通じて、地域活性化を行いたい自治体等へのシェアサービス導入支援を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (一社) シェアリングエコノミー協会</li> <li>➢ (株) ガイアックス</li> </ul>
<p>たなか じゅんいち 田中 淳一</p>  <p>2017年12月</p>	<p>三重県 最高デジタル責任者 (CDO : Chief Digital Officer)。デジタル社会形成の方向性として「誰もが住みたい場所に住み続けられる三重県」を掲げ、ジェンダー平等を含んだ多様性や包摂に基づく「寛容な社会」を前提条件として、県民の皆さまの心豊かな暮らしと地域の持続可能性を目指し、みんなの想いを実現する「あったかいDX」を推進している。</p> <p>内閣府 地域活性化伝道師、総務省 地域情報化アドバイザー、総務省 地域力創造アドバイザー、経済産業省 IoT/AI時代に対応した地域課題解決のための検討会議 構成員、兵庫県豊岡市 ジェンダーギャップ解消戦略会議 オブザーバー、一般社団法人シェアリングエコノミー協会 シェアリングシティ推進協議会 アドバイザリーボード、NPO法人スーパーシティ協会 理事なども務める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 三重県</li> </ul>
<p>つみた ゆうへい 積田 有平</p>  <p>2017年3月</p>	<p>シェアリングエコノミー協会事務局として、協会設立の2016年からシェアリングシティ事業の責任者を務め、官民連携して全国の自治体とシェアリングシティのモデル構築を推進。2019年7月にシェアリングシティ推進協議会を設立し、ボードメンバー兼事務局長に就任。</p> <p>2021年シェアリングエコノミー協会常任理事に就任。</p> <p>2022年スペースシェア総研所長に就任。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ (一社) シェアリングエコノミー協会</li> <li>➢ (株) スペースマーケット</li> </ul>
<p>なかむら りょうこ 中村 涼子</p>  <p>2017年12月</p>	<p>市の担当係長として、多久市におけるシェアリングエコノミー活用を推進。クラウドワーカーの育成拠点を設け、ワーカーを育成。体験型観光のマッチングサイト「aini」の活用も実施。観光協会の事業として取り組んでいる。空のシェアリングエコノミーからまちづくりに活かすべく、株式会社トルビズオンと連携協定を結び、ドローン物流を実施する空の道を開発中。自治体でシェアリングエコノミーを推進していく際の関係各所との各種調整のノウハウに精通。他自治体からの視察を積極的に受け入れ、シェアリングエコノミーの普及に貢献。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 佐賀県多久市役所</li> </ul>

# シェアリングエコノミー伝道師プロフィール (3/4)

(※)令和5年5月時点の内容になります。

氏名／任命時期	これまでの主な実績等	所属団体等
<p>ながい のぶあき 長井 伸晃</p>  <p>2021年1月</p>	<p>市民への受け入れやすさ・独自性を意識し、住民や企業・関係部署等をつなぎ、地域の課題解決や経済活性化に導く政策を考案し導入・推進を図る。シェアリングエコノミーの活用を市長へ提言し、アイカサ・TABETE・スペースマーケットなど複数のシェアサービスと事業連携協定を締結。 エリア内での活用を浸透させるため、役所内の連携だけでなく、地元経営者や関連施設等への周知活動にも奔走し、サービス提供者側の利用促進にも尽力。シェアリングエコノミー分野に留まらず、主に官民連携のテーマを中心に自治体向け・大学講義等多数の講演実績有。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 兵庫県神戸市役所</li> </ul>
<p>ほそかわ てっせい 細川 哲星</p>  <p>2017年12月</p>	<p>株式会社ガイアックスにてCtoC観光シェアサービスTABICAをファウンダーとして立上げ、地方創生室長として全国各地の自治体にて着地型・体験型観光の導入を推進。コロナ渦に、オンライン観光をスタートし、約7,500人規模のオンライン体験フェスを主催。新しい働き方としてワーケーションの推進を複数地域にて担当。数多くの地域体験の開発・磨き上げ・集客の実績を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (株) ニューソニアンドカンパニー</li> <li>➤ (一社) 御屠蘇普及協会</li> <li>➤ 京都ワーケーション協議会</li> </ul>
<p>まつだ ともお 松田 智生</p>  <p>2022年8月</p>	<p>1966年東京生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。専門は地域活性化・アクティブシニア論。逆参勤交代構想による都市と地方の人材共有とシェアリングエコノミー化を提唱。全国で実証事業を展開中。委員として、内閣府高齢社会フォーラム企画委員、内閣官房地方創生×全世代活躍まちづくり検討会委員、石川県ニッチトップ企業評価委員、浜松市地方創生アドバイザー、壱岐市政策顧問等を歴任する当該分野の第一人者。著書に「明るい逆参勤交代が日本を変える」、「日本版CCRCがわかる本」。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 三菱総合研究所主席研究員</li> <li>➤ 高知大学客員教授</li> </ul>
<p>みのぐち めぐみ 蓑口 恵美</p>  <p>2017年12月</p>	<p>富山県南砺市出身。『幸せに働ける人・地域を創る』をライフテーマとし、ランサーズ株式会社にて3年間で22の自治体と新しい働き方の事業を実施。地域で自走するコミュニティ作りを目指し続け、2017年北海道天塩町では24名の住民がわずか8ヶ月で累計160万円の報酬を得られるようになり事業終了後も自主的な勉強会が開催されている。現在は2拠点居住生活をしながら、富山県南砺市井波での起業家育成事業を開始。新しい時代の地域社会との関わり方や働き方を研究している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ (株) ガイアックス</li> <li>➤ (一社) ジソウラボ</li> </ul>

氏名／任命時期	これまでの主な実績等	所属団体等
<p>もりと ゆういち 森戸 裕一</p> <p>2017年3月</p> 	<p>全国の自治体、公的団体などの主催セミナーでデジタルトランスフォーメーション（DX）やシェアリングエコノミーの事例解説などの実績多数。自治体のRPAやAIの導入支援や地域課題解決のためのデジタル活用などの支援でも突出した実績を持つ。異業種・地域間連携による事業の付加価値創出、新事業創造などの手法でのコンサルティングが特徴。都市部と地方都市との事業連携を推進するコラボレーションスペース（佐賀県伊万里市）の運営実績をもとにワーケーションなどの推進をシェアリングエコノミーの観点からも支援している。名古屋大学や熊本大学では客員教授としてシェアリング事業を中心とした学生の起業支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ （一社）日本デジタルトランスフォーメーション推進協会</li> <li>➤ （一社）シェアリングエコノミー協会</li> <li>➤ ナレッジネットワーク（株）</li> </ul>